

協働の部屋

Vol. 7・2023年2月

みんなで住みたいまちに ★ できることから始めよう！

市民協働課Facebook「ひろさき協働まちづくり情報」配信中！

平成27年4月に施行された「**弘前市協働によるまちづくり基本条例**」は、「みんなでまちづくりをしていきましょう」という「**協働**」を柱としたまちづくりの仕組み（ルール）を定めています。そのなかで、基本となるのは「**市民参加**」！一人ひとりが、自分たちのまちは自分たちで作っていくという意識を持って、できることから取り組むことを大切にしています。

まちづくりに取り組む学生さんへインタビュー

Part3



弘前大学人文社会科学部2年
女川 茉菜（おながわ まな）さん
学生団体@ぼくらしnext メンバー
弘前市協働によるまちづくり推進審議会委員



『@ぼくらしnext』って、どんな団体？



【写真】

学生シンポジウムの様子

弘前大学の学生で構成され、市内の大学生の「なりたい、やりたい」を形にするイベントの企画・運営を行い、活動を通して参加した学生だけではなく、自分たちも共に成長することを目的として活動を行う団体です。今年度は、市内のサークル等がパフォーマンス・プレゼンテーションで活動を披露する「**学生シンポジウム**」を開催しました。

女川さんが思う「活動のやりがい」とは？

自分たちが主体となり、色々なイベントを企画・運営をしている女川さん。

学生シンポジウムの開催を通して感じたやりがいなどについて、お話いただきました。



女川さん：初めてイベントの運営に関わったので、学生シンポジウムの企画・運営では慣れないことも多く、自分たちの考えている内容を正確に人に共有することの難しさを知りました。**失敗もしながら、上手く相手に意図が伝わった時は嬉しかったです。**また、開催にあたり、様々な社会人の方と連絡を取る際、「**一人の社会人**」として扱っていただけたことで、**責任感を持つことができ、成長につながった**と思います。

今後の意気込みをどうぞ！

女川さん：宮城県出身で大学進学とともに弘前へ来ました。食べ物はどれも新鮮で美味しく、初めて生のキクラゲが売っているところを見たときは、乾燥したものしか見たことがなかったので、驚きとともに美味しさに感動しました！**県外出身者の視点から、青森の魅力を広げていきたいです！**

編集後記



今回のインタビューは、市民協働課のインターシップに参加された学生さんに行っていました♪

★出前講座～「協働」ってなに？「まちづくり」って私にもできるの？という市民のみなさんのもとへ、市の職員が直接出向いて、わかりやすくお話しします！／発行元：市民協働課 協働推進係（40-7108）